



# グローバルサプライチェーンの 今を考える -コロナ禍・ウクライナ情勢が物流に与えたインパクト-

『素人は戦略を語り、プロはロジスティクスを語る』と、軍事におけるロジスティクスの重要性を示す言葉があります。コロナの流行や危機的な状況から抜け出せないウクライナ情勢といった「有事」が世界で続いている中で、今こそこの言葉は有効だと考えられます。

今回は、コロナ禍やウクライナ情勢がサプライチェーンに与えた影響と、国内で望まれる対応について解説していきます。

## コロナ禍により物流コストが高止まりに

3年近くにわたり世界的に流行しているコロナは、物流コスト高騰に大きな影響を与えており、主にコンテナ運賃と燃油費の上昇が顕著です。特にコンテナ運賃は中国-欧州間、中国-米国間の市況に大きく左右され、世界的なコンテナ不足を背景に運賃高騰が続いています。

### コンテナ運賃高騰の主な理由

- ・コロナ禍によるコンテナ荷役の人材不足で、欧州・米国にある港での遅れが発生し、コンテナ船が滞留。
- ・コンテナ滞留の結果、空コンテナが輸出拠点である中国に戻ってこないため、世界中でコンテナ不足が進行。
- ・米中経済摩擦の影響による荷動き低下の懸念から、コンテナの生産量が減少。



### 燃油費高騰の主な理由

- ・コロナ禍によって落ち込んだ需要が世界的に回復傾向にあり、原油価格が上昇。
- ・原油生産量の抑制。



## 物流にさまざまな影響を与えるウクライナ情勢

では次に、ウクライナの緊迫した情勢が世界の物流にどういった影響を与えているのか見てみましょう。

### ①急激な物価高



先に挙げたコンテナ運賃の上昇、燃油高、さらにウクライナなどが主要生産国である穀物の高騰が影響し、物価が急騰。いずれも、コロナ禍の影響で値上がりしていたところに、ウクライナ危機によって一段と加速しました。

### ②荷動きの滞り



航空輸送のルートは、ロシア上空を避けざるを得なくなりました。また海上輸送では、主要なコンテナ船社はウクライナやロシア発着貨物の受託停止を余儀なくされ、荷動きが滞りました。

実は、世界の国際航路における船員の約15%がウクライナ人やロシア人です。この危機が続く状況では、ロシア人船員は寄港地で荷役などが制限される可能性があり、またウクライナは18~60歳(男性)の出国禁止の影響が出ており、船員の供給ができなくなっています。その結果、アジア系の船員で代替するようになっているため、船員の賃金上昇につながっています。(2022年9月30日現在)

出典:国際海運会議所「The Seafarer Workforce Report, published in 2021 by BIMCO and the International Chamber of Shipping」

### ③新規輸送ルート の利用



港を持たない都市が多いユーラシア大陸において鉄道輸送は、重要な大量輸送手段です。しかし、従来アジアと欧州間で主に用いられていたシベリア鉄道輸送は敬遠され、現在、ロシアを迂回する大陸横断鉄道ルート「中部回廊」が延伸。新たな輸送ルートとして急速に利用されるようになりました。(2022年9月30日現在)

## 求められるサプライチェーンの見直しと労働生産性の向上

これら世界情勢の大きな動きは、国内物流にどのような影響を与えるのでしょうか？

製造業などの荷主企業は、コロナ禍やウクライナ情勢の影響により、物流費だけではなく原材料費も値上がりし、価格に転嫁せざるを得ないほど大変厳しい状況に置かれています。世界の国々が持つ、カントリーリスクが顕在化している証拠でしょう。今や世界情勢は、国内物流にも即影響を及ぼします。グローバルに構築されているサプライチェーンを見直す時期がきているのかもしれません。

その一方で、製造業や小売業を支える日本の物流業界の労働生産性は低く、例えばアメリカと比較すると半分以下という報告

があります。海外では、モノを積み替えずにトラック・鉄道・船舶・航空など複数の輸送手段を用いる複合一貫輸送(インターモーダル輸送)が一般的です。そして複合一貫輸送を推し進めるためには、物流の標準化が第一条件であり、統一されたサイズのパレットを使うといったオペレーションの標準化のほか、送り状やバーコードなどのデータ標準化が欠かせません。

コロナ禍やウクライナ情勢の影響に対し、物流業界ができることのひとつが標準化による労働生産性の向上であり、それには荷主企業の理解を得ながら進めていくことがカギになると考えます。



角井 亮一 (かくいりょういち)

株式会社 イー・ロジット 代表取締役社長兼チーフコンサルタント。上智大学経済学部を3年で単位取得修了し、渡米、ゴールデンゲート大学からマーケティング専攻でMBA取得。2000年、株式会社 イー・ロジット設立。著書に『アマゾンと物流大戦争』『すごい物流戦略(日本語/ベトナム語)』などアマゾンや物流関連の書籍を多数出版。